

タクシー最大手・日本交通の子会社で、日本最大のタクシーアプリ「全国タクシー」 運営の「JapanTaxi 株式会社」が「未来創生ファンド」より5億円を資金調達 日本の新しい公共交通を担うモビリティプラットフォームへ

JapanTaxi 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川鍋 一朗、以下、JapanTaxi）は、スパークス・グループ株式会社（代表取締役社長：阿部 修平）が一昨年設立した「未来創生ファンド」から、5億円の資金調達を実施したことをお知らせします。

JapanTaxi が開発・運営する日本初のタクシー配車アプリ「全国タクシー」は、全国47都道府県49,414台（全国のタクシー台数の約22%のシェア）を簡単な操作で配車・予約することができます。2011年12月にサービスを開始してからダウンロード数は300万件を超え、日本で最も利用者数が多いタクシー配車アプリに成長しました。

このたび、未来創生ファンドからの資金調達を機に、「全国タクシー」アプリに「事前確定運賃」や「タクシー相乗り」などの革新的な新機能を追加し、2022年までに配車可能タクシー台数を12万台（全国のタクシー台数の約60%のシェア）に、累計アプリダウンロード数を1,100万件に伸ばし、「国民的タクシーアプリ」を目指します。

同時に、今回の資金調達に合わせ、JapanTaxi は未来創生ファンドに出資しているトヨタ自動車（代表取締役社長：豊田 章男）が一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会（会長：川鍋 一朗）加入のタクシー会社5社と共同で進める次世代タクシーに向けた取り組みを元に、安心・安全なタクシーをITの力で進化させ、都市部ではキャッシュレス決済やAIによる最適マッチング、地方では過疎地域での相乗りタクシーなど、少子高齢化という課題に世界で最初に挑む、日本の新しい公共交通を担うモビリティプラットフォームに進化していきます。

※未来創生ファンドについて

未来創生ファンドはスパークス・グループ株式会社を運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社の出資で、2015年11月より運用を開始しました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に投資を行います。

■JapanTaxi 株式会社について

ウェブサイト：<https://japantaxi.co.jp/>

「IT×交通、モビリティ・イノベーション」をテーマに、タクシーを中心とした交通・モビリティ分野のソフトウェア・ハードウェア開発を行う企業です。「移動」で人を幸せにすることを目指して、ソフトとハードの両面で「タクシーの乗車体験」というユーザーエクスペリエンスを徹底的に追求。タクシーの枠組みに留まらず、新しい公共交通のインフラを創っていきます。

■全国タクシーアプリについて

シリーズ累計ダウンロード数300万を超える（2017年4月現在）、国内最大のタクシー配車アプリです。47都道府県（加盟タクシー：49,414台（全国のタクシー台数の約22%のシェア））で活用できるほか、タクシー料金の検索・クレジットカード等の登録による降車時のキャッシュレス・空港定額など様々な機能を提供しています。

■本プレスリリースに関するお問い合わせ

JapanTaxi 株式会社 社長室

TEL:03-6265-6265

Email: pr@japantaxi.co.jp